

東洋の魔女

岡部耕大

(92)

劇作家

売れた年もある。

「東洋の魔女」の主将だった河西昌枝さんは向ヶ丘遊園に住んでいらした。時折、駅ですれ違つたが、わたしと目が合うとほほ笑めた。わたしも「東洋の魔女」に会釣をした。たったそれだけのことである。しかし、

「東洋の魔女」を率いた鬼の大松はハナ肇の主役で映画になつた。ただ、ハナ肇は太り過ぎていて、鬼の大松の精悍さには遠かつた記憶がある。「俺に

ついてこい」の大松の言葉は有名である。また「根性」という言葉も流行つた。日本を占領した連合国軍の最高司令官マッカーサーが84歳で死去した年である。坂本九の「上を向いて歩こう」がアメリカで「スキヤキ」という名前を付けて100万枚

「ああ、常連ですよ」。床屋の親父は得意氣であつた。近くに巨人軍の合宿所がある。いまも昔も床屋の親父は情報通である。いろいろな人のいろいろな裏話を聞いた。ここで書きたい

が、書けない裏話ばかりである。しかし、脚本家はなにかの本

とわかるそうである。いまは散髪も電気バリカンで家内にやつてもらつていて。床屋まで行くのが面倒くさい。あの色紙はまだ飾つてあるのか。

巨人軍もすっかり若返りしてしまつた。選手の名前すらわからぬ。高橋由伸監督がわたし

とわかれのうである。いまは散髪も電気バリカンで家内にやつてもらつていて。床屋まで行くのが面倒くさい。あの色紙はまだ飾つてあるのか。

河西昌枝さんを駅でお見掛けしなくて久しくなつた。「どうされたのか」といぶかしがつていたら「2013年10月3日に脳出血で死去された」とナシップ好きの劇団員が教えてくれた。河西昌枝さんは、目を覆うような奇烈な練習が続いた日々の中、結婚を先延ばしした鬼の大松へのささやかな抵抗として、爪を伸ばしていたそうである。まだ学生であつた。「へえ、わたしの演劇が好きなんだ」と喜んだが、なんのことではない、

河西昌枝さんを駅でお見掛けしなくて久しくなつた。「どうされたのか」といぶかしがつていたら「2013年10月3日に脳出血で死去された」とナシップ好きの劇団員が教えてくれた。河西昌枝さんは、目を覆うような奇烈な練習が続いた日々の中、結婚を先延ばしした鬼の大松へのささやかな抵抗として、爪を伸ばしていたそうである。まだ学生であつた。「へえ、わたしの演劇が好きなんだ」と喜んだが、なんのことではない、

河西昌枝さんを駅でお見掛けしなくて久しくなつた。「どうされたのか」といぶかしがつていたら「2013年10月3日に脳出血で死去された」とナシップ好きの劇団員が教えてくれた。河西昌枝さんは、目を覆うような奇烈な練習が続いた日々の中、結婚を先延ばしした鬼の大松へのささやかな抵抗として、爪を伸ばしていたそうである。まだ学生であつた。「へえ、わたしの演劇が好きなんだ」と喜んだが、なんのことではない、

書けぬ裏話も本に

わたしを感動させた「東洋の魔女」が身近に住んでいらっしゃるのがうれしかつた。

向ヶ丘遊園にはいろいろな人が住んでいる。行きつけの床屋

の舞台を見に来ていた時期がないように登場させるものである。まだ学生であつた。「へえ、わたしの演劇が好きなんだ」と

ピック」だそうである。どんな東洋の鬼や魔女が出現するのだろうか。やっぱり、2位ではいけないのか。もう「根性」だけ

にいる鏡の前に巨人軍の選手のそ話を、作品の人物にその人と仲のいい女優さんがいただけであつた。「野球はやってますか」と聞くと「はい」とだけ答えた。となつた人が読めば「わたしだ

と聞かれて、「この選手、来るんですか」と問いただした。ただ、直立不動だ

（松浦市出身）